

## 家づくりの要である住宅設計を考えてみよう（その12）

### ～ 和室 ～

#### 1 和室の特徴

和室は、日本の伝統を感じられる落ち着いた雰囲気になり、高温多湿という日本の風土に合っています。また、機能面でも下記のように、狭い面積で多様な使い方ができるのが和室の最大の特徴です。

##### （1）和室のメリット

- ① 坐布団敷けば客間になります。
- ② 布団を敷けば寝室になります。
- ③ 子供が宿題をしたり、着替えたり、遊んだりできます。
- ④ 洗濯物をたたんだり、アイロン掛けたり、家事作業もできます。
- ⑤ ゴロゴロしてくつろげます。
- ⑥ ちゃぶ台を出せば茶の間にもなります。

##### （2）和室のデメリット

- ① 年月がたつと劣化しやすい。
- ② 汚れが取りにくい。
- ③ カビやダニが発生しやすい。

#### 2 小上がり

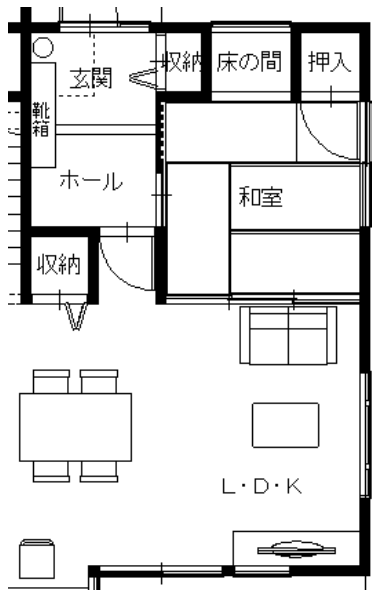
和室は多様性がありますが、逆に言えばつかみ所のない空間でもあります。結局は、和室をどのように使いたいのか、ではないでしょうか。和室を客間として、リビングとは切り離して掘りごたつを使ったりして空間にメリハリを付けるのであれば、段差を付けるのも一つの方法かと思います。そのような、明確な目的がないのであれば、段差なしのフラットが良いでしょう。フラットは安全でユニバーサルでもあります。

##### （1）小上がりのメリット

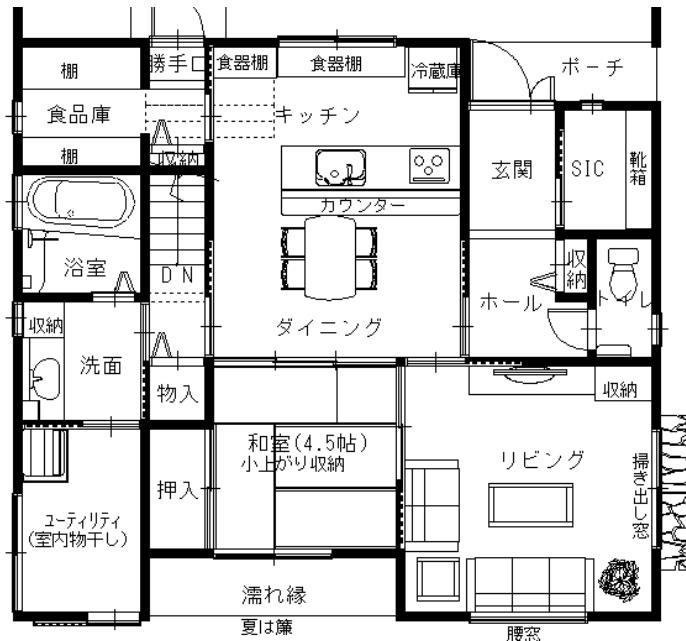
- ① 床座の生活ができる。
- ② 小上がりなので収納部分ができる
- ③ インテリアデザインとしても有効
- ④ 腰掛けてから和室に上がれたり、足を下ろして楽に立ち上がれる
- ⑤ リビングとの境界がはっきりする
- ⑥ リビングにイスを置かずに腰掛ける場所にできる
- ⑦ 背もたれにもなる

##### （2）小上がりのデメリット

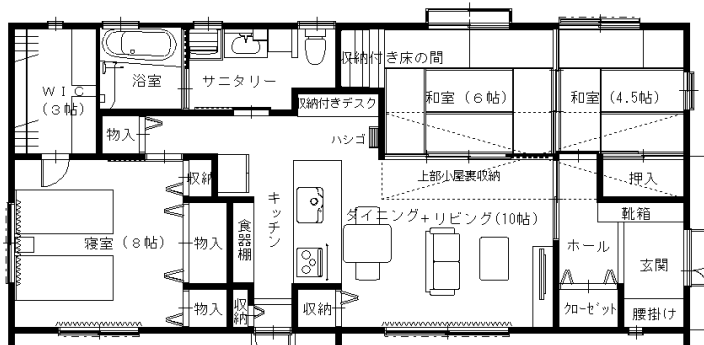
- ① バリアフリーでない。
- ② 構造上、次のようなことに注意
  - ・玄関ホールから出入りする場合
  - ・掃き出し窓の場合



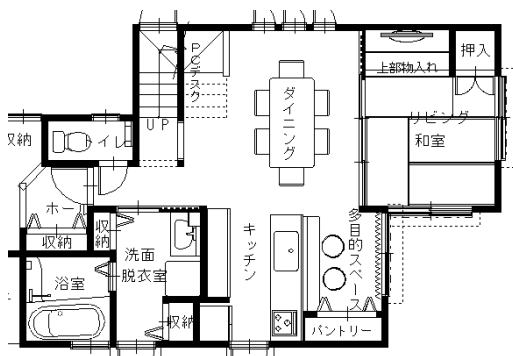
玄関から直接和室



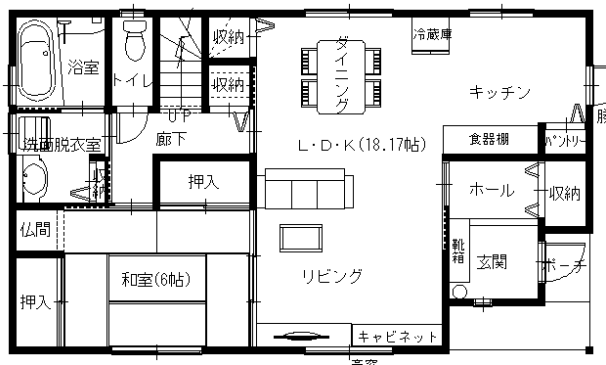
ダイニングとリビングに繋がる和室



続き間の和室



リビングが和室



個室にもなる和室

